

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 第21回 8・8平和を考える長崎集会

## 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙 「みらい」  
NO. 3779  
17年8月15日(火)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。8月8日長崎市で「第21回8・8平和を考える長崎集会」が開催されました。集会には日巻郵政ユニオン中央本部執行委員長をはじめ、関東・近畿など全国から多くの仲間が参集し、学習と交流を行いました。この集会は一部が「高校生一万人署名実行委員会・高校生平和大使」の講演。二部が各地の平和行動の取り組み報告という形で行われました。集会は、実行委員会を代表して米地九州地本委員長が歓迎のあいさつを述べ始め

まりました。来賓の3氏からは、改憲をまくろむ安倍政権と沖縄辺野古への基地新設反対闘争の現状や被爆地長崎の取り組み、拡張を続け極東最大の空軍基地となったアメリカ軍岩国基地の現状と危険性についてあいさつを受けました。

続いて行われた講演では「高校生一万人署名実行委員会・高校生平和大使」の9名の高校生が、今年で20年となる高校生平和大使の派遣運動の活動報告という形で講演を行いました。彼らのスローガンは「微力だけど無力じゃない」です。これまでに彼らが炎天下や悪天候の中、学校・街頭や公園で集め国連へ届けた署名は140万筆を超えています。またノーベル平和賞にノミネートされるという話もありました。まさに継続は力なりであり、決して微力ではないことを証明しています。講演では署名活動のみならず、災害支援や海外での活動等も報告されました。

講演中、核兵器の無い平和な世界を目指して行動し続けている高校生の力強く自信に満ち溢れた発言にし



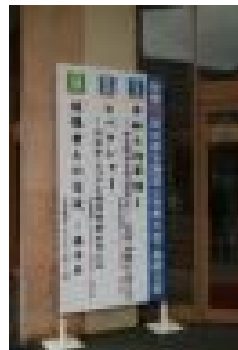
集会は最後に「アジアの戦争を始めた85年前の日本と、現代の日本は同じであり、いま反対の声を上げなければ、日本は再びアジアへの加害の国となってしまふ。8・8集会のメインスローガン「再びアジアに銃を向けない」は、今こそ必

ばし圧倒されました。集会参加者からも、元気をもらええる非常に良い講演だったと感想が聞かれました。第二部は、ピースサイクルの紹介から始まりました。ピースサイクル長崎ルートは今回が30回目の記念のサイクルでした。その後は各地のピースサイクルや8月5・6日の広島行動報告「労基法郵政20条裁判原告」機さんから裁判の報告が行われました。

## 2017原水禁大会報告

同8日、原水禁世界大会の分科会も開催され支部からも参加しました。長崎大会第1分科会では「平和と核軍縮1、核も戦争もない世界を！」憲法・沖縄から考える「がテーマでした。安倍政権になって憲法までも変えて行ける政権に恐怖さえ感じる私にとって非常に興味をそそる内容でした。内容は、東北アジアの平和と安定に向けた取り組みを考えます。戦争ができる国づくりをすすめる安倍政権の危険な本質を明らかにし、戦争法制が作った新事態と新活動に言及しました。その上で、起こりうる事態の例を挙げこのままでは日本は本当に戦争をする国になっ

てしまつと語られました。原子爆弾が投下されてから72年が経ち、ようやく今年の7月7日に核兵器禁止条約が国連で採択されましたが、被爆国の日本が条約交渉に参加しない…そこどころか、再び戦争への道を進んでいる…この国は何を考えているのでしょうか？



また教育文化会館で行われた分科会では、世界各国の核兵器情勢、非核化への取り組みなど、詳しい知識を得られ、たいへん勉強になりました。会の最後には傍聴者からの質疑応答の時間がありました。なかでも諫早から個人で参加されていた老母さんが「私は何の会の代表でもありませんが毎年参加させてもらってます。長崎市内の若い人もこのような集いに耳を傾け、核廃絶への意識や訴えを持っていただきたい」との声には素直に反省し、被爆地長崎に生まれた責任として今後も活動していかな



いといけないと思いましたが、

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。